

水曜会

第65号

令和7(2025)年1月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



きだこうへい 市政報告 vol. 13

令和7年3月

福山市議会議員 喜田紘平 第13回市政報告

皆様のお力添えのお陰で、昨年4月に当選をさせていただき、3期目として今期も再び市議会議員の活動をさせていただいております。

今期から、『民生福祉委員会』の委員長を仰せつかりました。民生福祉委員会では、保育施設やネウボラ制度も含めた子育て支援施策、児童・障害者・高齢者等の福祉施策、健康推進施策、市民病院や子ども発達支援センターへの施策など、多くのことを専門的に議論できることになり、大変大きなやりがいを感じています。

子どもたちを含めた、本市全体の福祉政策の発展・充実に向け、委員長としてしっかりと貢献できるよう、引き続き頑張っております。また、昨年6月議会定例会・本会議では通算19度目、12月議会定例会・本会議では通算20度目の一般質問の機会をいただきました。教育課題・子育て課題を中心に、日々さまざまな行政課題を市長・教育長を始め、市職員と議論を重ねています。

この度、私の市議会議員としての活動をまとめました『きだこうへい市政報告』第13号が出来上がりました。ぜひ一読いただければ幸いです。引き続き、皆様から変わらぬご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



43歳

喜田 紘平

12月定例会市議会

本会議は11月27日から12月18日まで行われ、追加議案も含め補正予算案12件、議案21件が上程され、審議の結果全て可決されました。予算案の一部を紹介いたします。

駅周辺に(仮称)思いやり駐輪場を整備

福山駅南口、北口にそれぞれ一ヶ所、高齢者や子育て世帯を対象とした(仮称)思いやり駐輪場を整備します。路面標示、交通標識、自転車ラック、防犯カメラ

オンライン資格確認システム改修に補助

小児慢性特定疾病や自立支援医療(育成医療・更生医療)の受給者資格

ラ、案内看板、フェンス等の整備700万円が計上されています。

住民税均等割のみ課税世帯にも3万円

情報を、マイナンバーカードを用いてオンラインで確認するためのシステム改修費用を、医療機関12施設に補助するもので、430万円が計上されました。国の先行実施事業に採択されています。

補正予算二次分では、原油価格・物価高騰対策に28億円を充てています。このうち支援金給付事業については、国が進める①住民税非課税世帯に加えて、市単独事業として②住民税均等割のみ課

補正予算(一次分)の内訳

《一般会計》	[65億4,897万円]
福山駅周辺への(仮称)思いやり駐輪場の整備	700万円
障がい者の工賃向上に資する生産設備導入支援	1,505万円
小児慢性特定疾病等オンライン資格確認支援	430万円
福山漁港(田尻)船揚場改修工事	500万円
地域集会所施設建設費補助(9団体)	261万円
事業費の整理に伴うもの	29億 87万円
制度上補正を必要とするもの	[35億6,563万円]
・財政調整基金積立金	24億1,000万円
・国庫負担金等返還金(清算に伴うもの)	11億5,563万円
寄附金対応	[2,509万円]
・沼名前神社能舞台活用支援事業	2,400万円
・健康増進啓発用品購入	109万円
その他	[2,342万円]
・議長車及び市長車の老朽化に伴う更新	1,400万円
・福山リサイクル発電所内施設整備	942万円

《特別会計》	[5,568万円]
国民健康保険特別会計(保険料過誤納付還付金等)	2,800万円
後期高齢者医療特別会計(納付金の精算)	2,068万円
駐車場事業特別会計(一般会計繰出金)	700万円

《企業会計》	[1億 700万円]
病院事業会計(臨床検査手数料、助勤医師謝礼等)	1億 700万円

「放課後児童クラブの開設時間が延長」

昨年8月 放課後児童クラブの開設時間が延長されるクラブが新たに5クラブ追加されました。

委員長を務める民生福祉委員会の中で、昨年8月から時間延長されるクラブが新たに5クラブ追加され、全部で10クラブとなり、平日のみならず、土曜日や夏休み等の長期休業期間も含め、時間延長がされています。

この案件は、私のホームページ上に設置する「福山目安箱」を通じてご要望を沢山いただいていた。【市民の方々が気軽に市へのご要望やご意見を投稿できるシステムです】

実際、それまで正規雇用だった方が、放課後児童クラブの開設時間により、立く立く非正規雇用へと雇用形態を変更された方もいらっしゃいました。ひとり親家庭や核家族も増えてきた本市の現状において、放課後児童クラブの開設時間の延長は必要な施策であり、議会本会議や委員会において、度々、市の執行部へ要望をし続けてきました。従来はなかなか動かなかった案件でしたが、徐々にではありますが、現状しっかりと確実に前に進んでいます。

保護者ニーズを踏まえ、更に多くの地域に広がっていくよう、引き続き提言を続けてまいります!

トピックその1

12 放課後児童クラブの開設時間の延長について

(1) 概要
開設時間の延長について、保護者からのニーズに応えるため、今年度は10か所の放課後児童クラブで取り組むもの。

(2) 内容
ア 開設時間

	現 行	変 更 後
通常期(平日)	授業の終了後～18時00分	授業の終了後～19時00分
土曜日	8時30分～17時00分	8時30分～18時00分
長期休業日(平日)	8時30分～18時00分	8時30分～19時00分

イ 土曜日・長期休業日(平日)の開始時刻
8時から8時30分までは「早朝見守り」を実施。

ウ 新たに開設時間を延長するクラブ
深津放課後児童クラブ
川口放課後児童クラブ
坪生放課後児童クラブ
加茂放課後児童クラブ
富山放課後児童クラブ

エ 実施時期
2024年(令和6年)8月1日(木)

(3) 延長費対価
ア 児童1人につき、月額1,000円。
イ ただし、同一世帯内に異なる2人以上の児童が利用する場合には2人以上以上の児童の延長費対価は、1人につき月額0円。

トピックその2

父「喜田三津雄」の原点で感じた事

昨年3月、次期挑戦に向けた活動の途中、かつて父が挑戦を始めた場所にふと寄りたくなり、幼い記憶を頼りに立ち寄ってみました。

36年前、まだ私が小学校の低学年だった頃、父はそれまで勤めていた公立中学校の教員を34歳で辞職し、「自分の教育を貫きたい!」との想いで、当時出た退職金をすべてかけ、このアパートの一階の事務所を借りて、教育相談所を立ち上げました。

安定した立場を自ら辞して、自分の信じた道へと駆け出した、ここがその原点の場所です。何の巡り合わせか、はたまたま筋筋なのか、奇しくも私が市議会議員に初挑戦したのも同じ34歳でした。

あの頃、父はどんな想いで、どんな気持ちで、ここにいたのだろうか? 挑戦している最中の、その不安な気持ちや恐怖にどう向き合い、どうそれを乗り越えてきたのだろうか? このアパートの1室から始まり、学校法人を設立するまでに成長させた、その原動力は何だったんだろう?

この場所で、色んなことを感じとり、色んなことを再発見し、また再び自らに気合いを入れ直すための貴重な時間となりました。

私にとって、最大であり最高の「挑戦者」像を身をもって自ら示し続けてくれた父。自らの信じる道へ向かって「挑戦する」ということに関しては、父に引けを取らないよう、引き続き邁進いたします!!



教育相談所があったアパート



故喜田三津雄

財政調整基金 149億2千万円に

補正予算一次分で、前年の実質収支額の2分の1にあたる約24億1000万円を積み立てました。が、二次分で約31億8000万円を取り崩したため、補正後の財政調整基金残高は約149億2000万円となりました。

7人が一般質問

12月議会では、7人が一般質問を行いました。

- 石口智志
- 喜田紘平
- 木村素子
- 平川富章
- 加藤陽一郎
- 千葉真一
- 橘高行格

質問の一部は、2月1日発行の「福山市議会だより」に掲載されます。また市議会HPで動画も視聴できます。



連絡先

電話 080-2889-4125 ※次号からの郵送をご希望の方は、左記までご連絡下さい。
Fax 084-993-4034
mail kidakohei.fukuyama@gmail.com

facebook Instagram X
きだこうへい 検索



喜田紘平 Official HP
http://kidakohei.com

『6月議会 本会議での一般質問』

- 1 道路の安全対策
 - ①道路から水路への転落事故の防止について
 - ②自転車通行空間の整備について
 - ③通学路について
- 2 子ども医療費助成制度
 - ①制度の拡充について
- 3 教育行政
 - ①教育長の指針について
 - ②統合型校務支援システムの導入について
 - ③スクールロイヤー制度の導入について
 - ④部活動の地域移行について
 - ⑤学力課題について

『12月議会 本会議での一般質問』

- 1 放課後児童クラブ
 - ①運営について
 - ②利用児童の来所・帰宅時の安全確保について
- 2 福山市民病院
 - ①収支の見直しについて
 - ②周産期母子医療センターについて
 - ③地域医療連携に関する覚書について

上記の議会での質問の映像記録を、きだこうへい個人のホームページに公開しております。質問の様子の手紙が公開されておりますので、こちらもぜひご覧ください。



(議会での質問動画)

1 水路への転落事故の防止について

Q 本市は、市街地の多くが江戸時代以降に海を干拓して造られた平地にあり、その土地は広く水田として利用され、現在に至るまで水田等が残つつ住宅や商業施設が立地するなど、都市化が進んだ街の成り立ちにより水路が非常に多くなっています。そうした中で、水路への転落事故の防止対策の実施状況について問い質しました。(一部抜粋)

A 市長から、「対策の実施は、子ども目線に立った対策を強化している。ソフト対策としては、未就学児や小学生と一緒に通園や通学路に隣接した水路の危険箇所の確認を行ったり、小学生に対しては、着衣泳等、水の事故から身を守る学習もした。またハード対策としては、転落防止柵等を設置した。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

一般質問後、中国新聞でも大きく記事として取り上げられていましたが、危険な水路はまだ市内に沢山存在しています。水路の安全対策は、子どもや高齢者を含め、全ての方々にとっての安全を確実に担保できる政策ですので、引き続き強く市へ提言を続けていきます。



2 自転車通行空間の整備について

Q 本市がこれまで進めてきた市道における自転車通行空間整備の進捗状況と今年度の整備予定について、また整備計画のエリア内における自転車関連事故の状況及びこれまでの整備効果についてお聞きしました。(一部抜粋)

A 市長から、「2018年に策定した『福山市道路整備計画』において、2027年度までに、市道約45kmを整備することとしており、昨年度末時点で、28.8km、約63%が完了している。今年度は、7路線、2.5kmの整備を予定している。計画エリア内における自転車関連事故は、2019年から2023年までの5年間にそれぞれ、201件、140件、109件、123件、144件発生している。『福山市道路整備計画』では、計画策定前の2017年の事故件数213件を2割減少する目標を掲げており、昨年実績では、約3割減少している。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

外国人の方々の自転車のマナーが悪いという声をよく聞きます。もしかすると、マナーが悪いというか、それぞれの出身の国ではある意味で常識の範囲内のことでも、自国の感覚のまま振る舞っていることで、日本だとマナー違反になることもあるかと思っています。ぜひその辺り、外国人の方々を雇用している企業や日本語学校のような教育機関とも更なる連携を深めていただきたいと要望しました。

3 通学路について

Q 通学路の安全対策のこれまでの成果の具体や取り組みの現状、今後の課題についてお聞きしました。また、新涯地区において実施している『ゾーン30プラス(最高速度30km/hの区域規制、スムーズ横断歩道、道路の狭さく整備を行ったエリア)』の対策の効果について、今後「ゾーン30プラス」を他の地域へ拡充し、安全対策の強化を推進していくのか、そのお考えについてお聞きしました。(一部抜粋)

A 市長・教育長から、「2014年度に策定した『福山市通学路交通安全プログラム』に基づき、本年3月末までに、約2,300箇所の対策が完了している。今年度6回目の合同点検を実施する予定である。引き続きハード・ソフト両面からの対策を継続的に実施し、通学路の安全確保に努めていく。『ゾーン30プラス』の取り組みの結果、車両速度や通過交通が抑制され、歩行者などの安全性が向上している。特に、小学校の周辺道路に設置したスムーズ横断歩道では、車両の停車率が59%から92%へと大きく向上した。今後、ご理解いただける地域への拡充を図っていく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

現状、広島県内での車の交通事故の発生割合がワースト1という状況が続いています。だからこそ通学路の安全対策は喫緊の課題です。全ての方々の人生を守るために、今後も対策の継続をお願いしました。

4 放課後児童クラブの運営について

Q 放課後児童クラブに対する利用保護者の要望や期待は、年々多様化する中、本市では昨年より、開設時間の延長を2クラブで先行実施されました。現在は12クラブまで拡大されており、そうした中で、放課後児童クラブの民間委託も施策として進めている状況ですが、これまでの民間委託の状況と今後の計画、また課題についてお聞きしました。(一部抜粋)

A 市長から、「現在、民間委託は2教室で実施、今後2年間で40教室に対し民間委託をしていく計画である。民間委託による大きな課題は現時点でない。現在、利用児童の欠席は、保護者が連絡帳に記入した情報により把握しているが、急に変更があった場合の連絡手段に改善の余地があり、新年度に向け、アプリの活用を検討していく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

『福山目安箱』

今回の質問項目も、私のホームページ上での市民の方からの市政へのご意見やご要望をお聞かせいただくシステムである、「福山目安箱」に寄せられた、市民の方からの生の声も参考にさせていただき、質問を構成しました。

お気軽に皆さまのお声をお聞かせください

5 利用児童の来所・帰宅時の安全確保について

Q 現在、3月から10月までは午後5時30分まで、11月から2月までは午後5時まで、保護者の迎えではなく、児童が自力で帰宅することが可能となっています。他自治体では、GPS位置情報を活用した「見守りシステム」を導入するなど、全国的にデジタル技術を活用した安全管理対策が増加しています。児童の来所・帰宅時の安全確保対策として、GPS位置情報を活用した「見守りシステム」を導入してはどうか、お聞きしました。(一部抜粋)

A 市長から、「GPSの活用は、保護者の安心感に繋がり、緊急時には児童の位置を素早く把握することが可能である。効果的な見守りシステムの導入に向け、保護者や地域の意見を伺いながら検討していく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

『福山目安箱』

福山に暮らしていて困っている事、改善してほしい事、もっとこうすれば福山の街が良くなる事...などをお聞かせ下さい!!



お名前・ご連絡先の記入は必要ありません。皆さまのお声を参考に、議会場で提案させて頂いております。

市民相談

市民の方からお寄せいただきましたご要望・ご相談の案件にお答え・お手伝いしました (一部抜粋)

「柵がなく危ない川」

「よく通行する道路に川が通っているが、その川のところには何も柵が無く、特に夜間、見通しが悪く何度も川に落ちそうになった。通行量が比較的多く、何か大きな事故に発展する前に、対応をお願いできないだろうか?」
 現地を確認し、担当課と協議。担当課も危険性が高いとご判断をくださり、柵の取付工事を行っていただきました。大きな事故に発展する前に解決でき安心しました。



「事故の多い交差点」

「近所の交差点がとにかく事故が多い! 交差点の四つ角の民家の塀やガードレール等、全ての面に車がぶつかったことがある! ここの交差点は、通学中の子どもたちや、近くにある学習塾に通う子どもたち等、多くの子どもたちが毎日行き来している。とにかく対応をしてほしい!」
 現地を確認し、担当課と協議。警察、地元町内会も交え協議を重ねられ、路面への交差点マークの表示をするという対応になりました。



「崖崩れの通学路」

「自宅の裏側にある、近所の県立高校への通学路を支えている路肩部分が崩壊しかかっている。近年豪雨も多く、いつ山道が崩壊して、山道部分が下の道路側へ陥落してもおかしくない。通学中の子どもたちが被害に遭う前に何とかならないだろうか?」
 現地を確認し、担当課と協議。担当課も危険性が高いとご判断をくださり、路肩の修復・補強工事を施していただきました。



きだこうへい 市民相談Q&A 検索 ←こちらにて、上記以外にも、ご要望・ご相談の案件をまとめています。

日々の活動の様子



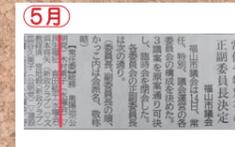
1月 議員インターンシップ参加の大学生たちと。彼らにとって成長の場と、政治に少しでも興味関心を持ってもらえるよう関わりました。



3月 衆議院議員の小林史明さんとの「教育対談」。お子様連れの方々が多く、1時間半、最後までお聞きいただきました。



5月 先の大戦における福山市戦没者追悼式に来賓としてお招きいただき参加し、しっかりと心からの祈りを捧げました。



5月 常任委員会で民生福祉委員会の委員長を仰せつかりました。しっかりと貢献できるよう、引き続き頑張っております!



6月 障がい福祉サービス事業所さんからご依頼をいただき、ボランティア演奏会を。また定期的に行いたいです!



6月 福山市立大学「小松安弘記念館」の落成式に参列。本市の教育レベルが更に向上していくことを心から願っています。



6月 広島ドラゴンフライズヘッドコーチ就任の朝山正悟さんのお祝いの会にお招きを頂きました。連覇を心から!!!



7月 岐阜市での行政視察、柴橋岐阜市長がわざわざ会いに来て下さり、「子育て支援施設ツナグテ」を視察させて頂きました。



7月 福山みずほ酒会45周年記念大会に来賓として御挨拶を。ますます当会が発展して下さることを心から願っています。



8月 放課後等デイサービス事業所の職員研修会の講師に。私が専門的に関わってきた発達障害への具体的な取り組み事例も含めお話を。



8月 二上りおどり大会。市内外から多くの方々に参加いただき、大いに盛り上がり、福山の街の活性化に繋がっていただくことを心から願って。



9月 福山市のネウボラ推進課との意見交換会を開催。助産師会の助産師の先生方と幅広く深い議論を交わす場となりました。



10月 佐賀県立宇宙科学館へ派遣視察。四半世紀もの長い間、人気を誇るこの施設を参考に、提言・提案を市へ続けたいです!



11月 議会報告会を担当の議員と共に開催。今回初めて、グループに分かれての意見交換会。大変有意義な時間となりました。



11月 2029年度オープンを目指す福山市の『(仮称)子ども未来館』にむけて、日本科学未来館へ市議会の委員会で視察に。